

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2014	インターン番号	KB1140	タイプ	公募型
派遣国	ミャンマー連邦共和国			派遣都市	ヤンゴン
受入機関	Jewel Collection Manufacturing Co., Ltd. (United GP)				
受入機関概要 (事業内容等)	受入機関は宝石類の製造販売の民間企業。実際にインターンをすごした会社はグループ会社で、ビル・マンション等の建設クライアント。				
派遣期間	2014年9月3日 ~ 2015年11月28日				
現在の所属先	(株)カシワバラ・コーポレーション			当時の所属先	同左
現在の所属部署	海外プロジェクト本部 ヤンゴンオフィス			所在地	ヤンゴン
区分	中小企業			性別	男性

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

社内でミャンマー進出の可能性を探る話が出た際、前年度にHIDAのインターンシップでミャンマーに派遣された方と出会い、いろいろ情報を聞くことが出来たのがきっかけです。また、実際に進出する前に先行して現地入りすることにより、パートナー企業の発掘やキーパーソン、すでに進出している日系企業とのネットワーク等の構築が出来、スタートが切りやすくなると考えたのが動機になります。

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

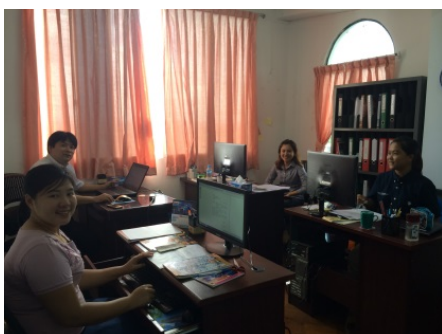
受入機関ではすでにプロジェクトが動いており、下請け業者やメーカーとのミーティングが数多くされていましたので、まずそのミーティングに参加させていただきました。そのミーティングや建設現場管理を通してミャンマーでのやり方や考え方を学びました。また、こちらからの提案として日系企業や日系メーカーを紹介し、少しでも日緬一緒にプロジェクトを進められないか模索しました。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

ミャンマーの現地機関に籍をおかせてもらったことで、自力では時間のかかるローカルネットワークの構築をスムーズに行う事が出来ました。加えて、現地従業員と一緒に働くことで大まかではありますがミャンマー人のやり方、考え方、文化、習慣などを肌で感じる事が出来ました。また、すでに進出されている日系企業にインタビューすることにより、実際に抱えている問題や今後どのようにしていくことが重要であるかとアドバイスを頂く事が出来ました。

今回参加して良かったことは、今までとは違った角度から物事を見る機会を得たことです。就職してしまえばと、なかなか他の会社に所属する機会はないのですが、現地機関に受け入れてもらうことで、日系企業とは違う考え方や、見方をフラットな気持ちで感じ取る事が出来ました。

インターンシップ風景



現地事務所風景



協力会社とのミーティング風景

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

私の勤めている株式会社カシワバラ・コーポレーションはインドネシア・台湾にそれぞれ事務所を開設している塗装施工会社になります。加えて、ミャンマーに2015年7月、新たにヤンゴン支店を開設致しました。私自身も今年5月よりミャンマーに駐在し、支店オープンのための準備で動いておりましたが、無事開設する事が出来、ヤンゴン支店の責任者を任されています。

今年開設いたしましたヤンゴン支店進出の話はインターンシップに参加する以前より進められてはいましたが、最終的には今のインターンシップで得た情報をもとに進出すると決定されました。今回得た情報といえども、進出するのであればどういった情報が必要で、どういった情報を持って帰らないといけないかを計画しておりましたので、インターンシップの経験(情報収集)がそのままヤンゴン支店開設へ活かしたという結果になっています。

今回のインターンシップを通しての目標のうちの一つに、『近い将来、このミャンマーでのインターンシップで友好的関係を構築した方々と一緒にASEANで広く仕事をしていく』というのがありました。そして今、支店を開設してから実際にインターンシップ中に友好的関係を構築できた企業より引合を頂き、またインターンシップ中に友好的関係を構築できたパートナー企業と一緒に仕事をする一歩手前まで来ております。インターンシップ中に目的をもって行動した結果が今につながっていると実感しています。また、インターンシップに参加することがなければこんなに早く結果が出ることもなければ、友好的関係を構築できることもなかったと思います。

至極当たり前の事なのかもしれませんが、インターンシップ事業を通じて知り合った人たちとのネットワークが基盤になり着実にそのネットワークが広がっているのを実感しております。また、ネットワークを構築できたことが今インターンシップの最大の成果だとも思っています。そのネットワークの中にはもちろん同期生も入っているのですが、私同様ヤンゴンに支店を出した方もいますし、これから出す方もいます。また、出張ベースでヤンゴンに来られる方もいます。いろいろな立場ではありますが、同期生とは今でもたくさんの情報を交換し更なるネットワークの拡大を図っております。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

参加する立場によって目標や、やりたいことは違ってくるとは思いますが、現状とは違う環境に身を置くことによって今まで考えもしなかったことや逆に考えなくてはいけない事など、幅を持った考え方や見方を発見できると思います。

HIDAやJETRO等、必要なバックアップはありますが、現地に入られましたらご自分で切り開いていかないといけない事が増えてくると思います。自分がどうしたいのかどうやりたいのかをしっかりと持って行動すればこんなに素晴らしい制度(インターンシップ)は他にないと思いますので、チャレンジをお勧めいたします。

現在の活躍の様子



弊社ヤンゴンオフィス風景

(殺風景ですが。。。)